

活動事例集

きっと
ヒントが
見つかります。



リバーサイド区福祉推進委員長
高橋 渡さん

- 1 ご近所に活動をわかりやすく見せる
(リバーサイド区)
- 2 戸数が少ない地区ならこのスタイル
(音羽自治会)
- 3 こどもと一緒に取り組めるアイデア
(山中区)
- 4 カフェで見守りができる?!
(藤江区)
- 5 さまざまな人材を巻き込みながら
(市場区)

見守りネットワーク活動 事例① リバーサイド区の見守り隊



Action 活動



見守り隊のタスキで活動アピール

戸数の多い新興住宅地では、不審に思われないことが肝心。ということで「リバーサイド区見守り隊」と表示したタスキを使用。

「ごくろうさま」「ごくろうさま」
逆に声をかけられます
「ありがとう」「ごくろうさま」
タスキをかけて
町内をまわっていると
道行く人から
逆に声をかけられます。
この見守り活動が
必要とされていることを
実感します。



Merit メリット



高校生も自主参加

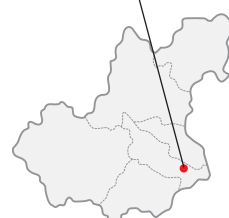
活動の目的や内容が一目瞭然。地域の賛同も得やすく、なんと高校生が活動メンバーに！

また防犯効果も期待できますね。
ひとめで「見守り隊」とわかるタスキ
をかけることで、訪問される方も安心、
悪質商法に狙われやすいといえます。
地縁による結びつきが強い地区は、
要とする方が増えています。こうした
ド区も年々高齢化が進み、見守りを必
要とする方が増えています。こうした
防犯効果にも期待

ポイント

防犯効果にも期待

リバーサイド区
人口 748人
高齢化率 27%



見守りネットワーク活動 事例② 音羽自治会のひまわり訪問



Action 活動



福祉の三役が一丸となって

見守り活動の中心となっているのは、自治会長、副自治会長、福祉推進委員長、民生委員さん。活動を始めるにあたって、全戸訪問し理解を求めたそうです。

70代のお元氣な方でも
人と話す機会が少ないこと。
サロンに行きたくても
集会所前の石段が
上がれないので
あきらめている方がいること。
わかっているようで
わかっていなかったことです。



見守り活動を通して
気づいたことは…

Merit メリット



踏み込んだ話ができるようになった

小さな集落なのでお互いのことはよく知っています。でも、この活動をはじめたことで、一歩踏み込んだ話ができるように。

いまま、見守り活動をされているメンバーも、いずれは見守られる側に…。
自治会の役員は、1年で交代するところがほとんどですが、「役員が変わったから活動も終了」では、安心できるしくみ作りは進みません。続いていくしくみにするためには、音羽のように集落内での合意が重要ですね。

ポイント

今後も続けられるしくみへ

音羽自治会
人口 134人
高齢化率 34%





見守りネットワーク活動 事例③ こどもも大人もみんなで見守る山中区

Action 活動



まずはサロンで回想法を実践

昔の写真を持ち寄るだけで、すぐに話に花が咲きます。福祉推進委員長さんより、後日こどもたちと訪問させていただくことをお知らせします。

こどもたちの
チカラつてすごい！
やまなか
「昔の山中のこと教えて下さい」
こう、こどもたちに聞かれたら
誰だって張り切ります。
「よっしゃ、教えたらっ」
この気持ち
お年寄りのみなさんを
元気にするんですね。



Merit メリット



世代間のつながりを強める

こどもたちだって、一度訪問してお話を聞けば、親戚でなくても、次に会った時には気軽に声をかけられるようになりますよね。

回想法は、昔の写真等を用いて、思い出を語り合うことで、お年寄りの活力を引き出すという心理的な支援方法のひとつ。
山中区では、見守りのメンバーとこどもたちが一緒に訪問。昔の話を聞きとることで、歴史文化の伝承と、また同時に安否確認も行えるユニークな活動を、生み出しました。

ポイント

回想法十見守り訪問

山 中 区
人口 103人
高齢化率 40%



見守りネットワーク活動 事例④ 藤江区のワンコインカフェ



Action 活動



毎月第3日曜日はカフェの日

毎月のふれあいサロンに加え、喫茶サロン（ワンコインカフェ）を開催し、住民が集い、交流する場を月2回に。

「見守り活動」訪問、
とは限りません
カフェの食器もテーブルクロスも、
各家庭に眠っていたものを活用。
かわいいメニュー表も
福祉推進委員さんの手作り。
楽しい雰囲気は
さまざまな人を
やさしく迎え入れ
つながりがひろがっていく。



Merit メリット



若い世代や男性も訪れるように

カフェなので30分で帰る人もいれば、2時間おしゃべりを楽しむ人も。この気軽さがいい。100円の参加費で、飲み物とお菓子つき。

ポイント

住民みんなで見守り合う

カフェには、福祉推進委員のみならずの他にも、区長さんや民生委員さんの姿が。気になることがあれば、すぐに相談でき、内容によっては専門機関につなげられます。

これも、さまざまな人々が集い、お互いに支え、支えられているという実感を持っているからこそ。

藤江区
人口 406人
高齢化率 27%





見守りネットワーク活動 事例⑤ 市場区の見守り隊

Action 活動



見守りマップを作成し情報共有

住民流支え合いマップを作ってみると、閉じこもり傾向にある方がひとめでわかります。

見守りが必要とする方のお宅を訪問するのは
家族・親戚と福祉関係者だけ？
いいえ、新聞配達も
冬場なら灯油の配達だって…。
みんなが連携すれば
きっと大きな住民力になります。

駐在さんも新聞屋さんも
GSも参加!?



Merit メリット



地域の社会資源がつながる！

上の写真は、生活支援ボランティアによるストーブの灯油入れの様子。灯油タンクを満タンにすると、けっこう重くて高齢の方には大変な作業です。

ポイント

活かしてこそその社会資源

市場区には、駐在所、新聞販売店、ガソリンスタンドに加え、まちの縁側ともいえる「丸八百貨店」があります。

また、日常のちょっとした困りごとをお手伝いする、生活支援ボランティアグループ「でんでん虫」の拠点もあつて、活動の情報を共有する「見守り会議」には、多様な人材が顔を合わせます。

市場区
人口 492人
高齢化率 30%

